

みんなでストップ!
患者負担増

署名にご協力ください!

1/23 現在協会全体で 17,261 筆 (目標 50,000 筆)

姫路・西播支部では 734 筆 (目標 5,600 筆)

協会では政府の患者負担増計画をストップさせるために、「みんなでストップ! 患者負担増」請願署名に、5万筆を目標に取り組んでいます。後期高齢者の窓口負担が1割から2割に倍増されると、多くの患者さんが必要な受診をためらったり、控えたりするようになりかねません。先生方と患者さんの声を合わせて計画を止めるためにも、署名にご協力をお願いします。

署名用紙・署名付きポケットティッシュのご注文は、

TEL 078-393-1807、FAX 078-393-1820 まで

患者負担を増やさないことを求める請願

(通称:「みんなでストップ! 患者負担増」署名)

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

請 願 の 趣 旨

75歳以上の窓口負担を原則1割から2割と「2倍」にすることをはじめ、負担増が計画されています。すでに、この数年の間に70歳~74歳の窓口負担2割や入院時の食事代や居住代の引き上げなどが実施されてきました。

これ以上の負担増がすめられれば、必要な医療が受けにくくなります。高齢者だけでなく、すべての世代に負担のしかかります。

私たちは、お金の心配なく安心して受診できるよう、以下の事項を求めます。

請 願 事 項

一、患者負担を増やさないでください

- 75歳以上の窓口負担を原則1割から2割にしないこと
- 受診するたびに100円~500円を窓口負担に上乗せしないこと
- 痛み止めなど、薬の「保険はずし」や患者負担増を行わないこと

一、お金の心配なく安心して受診できるよう、窓口負担を軽減してください

お 名 前	ご 住 所 ※「同上」「#」は使わないでください。

※この署名は、国会請願以外の目的に使用しません。

(取り扱い医療機関、団体)

全兵庫保険医団体連合会

スタート
すでに、**負担増**

2018年も...
入院時の食事代 UP
75歳以上の医療保険料 UP
介護保険利用料 UP

さらに、これから...
75歳以上の患者さんの窓口負担が原則1割から2割に **ガーン! 2倍に** 負担

痛み止めなど、薬の「保険はずし」自己負担割合の見直しで **負担増!**

新たな追加負担 100~500円 (窓口負担1~3割)

ゴール
みんなでストップ! 患者負担増
にご協力ください

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-5 新保連会館5F
TEL 03-3375-5121 FAX 03-3375-1862
くわしくはWEBで → リーフやパンフレットをご覧ください
http://hodanren.doc-net.or.jp/ 全国保険医団体連合会

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No. 248 2019年1月25日発行



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

新年のごあいさつ

姫路・西播支部支部長 正木 茂博

新年あけましておめでとうございます。みなさん、日々の診療ご苦労様です。本年も協会姫路・西播支部の活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成の時代が終わり、新たな時代を迎えようとしています。

最近社会に対して怒りを覚えることが増えたように思います。たとえば一億総活躍とか、人生100年時代とか、お偉い方々が言っています。一生働けとでも言いたいのでしょうか？ 年金を支払う財源がないし、少子化で働く人口が少ないからそう言っているのでしょうか、そういった社会にしたのは誰なのでしょう。社会保障費は削減しようとするし、改正入管法で日本を移民国家にして世界一治安の良い国を破壊しようとしているし、もうやめてくださいといたい気持ちです。

東日本大震災に伴う東電福島第一原発の処理は遅々として進んでいません。しかし、お偉い方々は原発を破棄しようとしません。電力供給の手段は他にもたくさんあると思うのにわけが分かりません。アベノミクスについても金融緩和による円安で大企業は大もうけしたかもしれませんが一般国民にはあまり恩恵がなかったように思います。お偉い方々の頭の中には、われわれ一般国民のことなど関心がないのでしょうか？



2面に続くー

—1面の続き

私は思うのです。われわれ一般国民はこれからはもっともっと政治や経済に関心を持たなければならないと思うのです。日産のゴーン氏のような人を日本の指導者の中から出さないためにも、政治や経済に関心を持とうじゃありませんか。

今年は選挙がある年です。一般国民に恩恵がくる世の中になるチャンスかもしれません。皆さんのご健闘をお祈りいたします。

在宅で褥瘡をコントロール

在宅医療研究会を開催



褥瘡の研究会に22人が参加(左)
講師の岩谷博篤先生(右)らが創傷や感染のコントロール方法を解説した

姫路・西播支部は11月17日、姫路市内で、加古川中央市民病院形成外科主任医長の岩谷博篤先生、皮膚・排泄ケア認定看護師の丸山澄美氏と橋本円氏を講師に「褥瘡・下肢難治性潰瘍治療の最新情報～在宅医療でできること、病院でできること～」をテーマに在宅医療研究会を開催した。

岩谷博篤先生は「褥瘡・下肢難治性潰瘍治療の最新情報」について、「褥瘡・下肢難治性潰瘍治療は急性創傷と違い、正常な創傷治癒転換が働かない慢性創傷の一つ。正常な治癒転換が働かない状態を、正常な治癒転換が働くようにするのが褥瘡・下肢難治性潰瘍治療」と語り、それぞれの発生メカニズムと予防法、外用薬の選び方など臨床に役立つ創傷や感染のコントロール方法を解説した。

丸山澄美看護師は「褥瘡治療の病診連携」について、「訪問看護体制をスピーディに整えることで、在宅医療では病院ではできないオーダーメイドの積極的なリハビリもできるようになる」と、病院と在宅医療の連携の役割を解説した。

橋本円看護師は「下肢難治性潰瘍治療の病診連携」について、他職種が関わる加古川中央市民病院のフットケアチームの取り組みを紹介した。

ご家族・お知り合いの先生を ご紹介ください

協会は、11月まで秋の組織強化月間に取り組み、会員は7467人と過去最高を更新しました。新規開業、病院勤務の先生方に保険請求対策、審査指導対策、新規開業医研究会、臨床研究会、歯科定例研究会等の参加、3大共済制度(グループ保険・保険医年金・休業保障制度)への加入などで、ご入会をいただいています。

会員の先生はもちろん非会員の先生にも「頼りになり役に立つ協会」を知っていただき、身近な存在と感じていただければと考えております。

つきましては、ご家族やお知り合いの先生で、まだ協会未入会の先生がいらっしゃいましたら、紹介状などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ等は、組織部(Tel 078-393-1817)まで



支部ニュースへぜひご投稿ください

日常診療のことや医科・歯科連携などテーマは自由です。

ぜひご投稿ください。よろしくお願いします。

お問い合わせは、Tel 078-393-1807 F A X : 078-393-1802

E-mail : kuriyama-h@doc-net.or.jp

担当事務局；栗山まで

開業医手作り
月替わり健康情報

健康情報テレホンサービス
☎ 0120-979-451



2月のテーマ

月曜日 糖尿病による目の病気(網膜症)のはなし
火曜日 スポーツで歯を失わないために
水曜日 足のしびれ～坐骨神経障害～
木曜日 大腸の病気と生活習慣
金土日 子どものアトピー性皮膚炎と食事

3月のテーマ

月曜日 子どもの予防接種のタイミング
火曜日 サプリメントの利用法
水曜日 アンチエイジングでなく「ヘルシーエイジング」を!
木曜日 鼻血が出たら
金土日 白内障の手術